



起業促進サポート事業を 受講し、大人のための 書道教室の開業をめざす

アトリエカッコは『書を愉しみ、和文化に遊ぶ』をコンセプトに、子どもから大人まで学ぶ神楽坂の書道教室。寺西曜子さんが2018年の4月に開業し、現在60名近くの生徒が学んでいる。

以前は、留学生の通う日本語学校や専門学校の教員、さらにアフタースクール事業で子どもたちを支援する活動に従事してきた。このように日本文化を伝えことや教えることに興味があつた寺西さんは、書道をツールにして和文化や書道アートを楽しめる教室を起ち上げようとして2017年に東京都中小企業振興公社(以下、振興公社)の商店街起業促進サポート事業を受講した。その後順調に準備をすすめ、振興公社の若手・女性リーダー応援プログラム助成事業の採択を受けて翌年4月に書道教室を神楽坂にオープン。

「開業前にターゲットを大人に絞りました。冠婚葬祭などの諸行事をはじめ、まだまだ自筆で名前を記す機会は多くあります。そういったときに恥ずかしい思いをしないですむよう、字を勉強したい人は多いと思ったのです。また忙しい人でも来たいときに自由に学べるよう、チケット制を取り入れました。」と寺西さんは話す。

近隣の書道教室についても下調べをし、他店との差別化やターゲット設定など準備はしっかりと行つてきただつもだったが、当初の思惑は大きく外れた。まず裏目に出了のがチケット制。6回と12回の授業が受けられる2タイプを発行したが、多くの生徒は回数券を使い切ると満足して教室に足を運ばなくなつていていた。

さらに有効期限は1年と定めているものの、月に受講する回数に決まりはないかったため、受講がなかなか進まず、結果的に新たなチケット購入にもつながりにくかつた。

子どもの書道教室に対する問い合わせもあつたが、ターゲットを大人に絞っていたため、まだ準備ができていない」と断つっていた。

専門家のアドバイスを受けて 大きな方向転換を図る

新規顧客が獲得できず既存顧客も減り続ける中、藁にもすがる思いで商店街



起業促進サポート事業を受講した際に

指導を受けた講師にアドバイスを求めたのは、開業して半年以上が過ぎた頃だった。現状を確認して今後の課題を抽出したが、それ以前に改善するポイントはいくつもあった。まず指摘されたのは、アトリエカッコという屋号が何の教室かが伝わりにくいこと。そのため屋号は残しつつ、全面に「神楽坂書道教室」とは語うこととした。

またコース内容やクラスも『生徒』がこの教室で何を得たいか』というニーズに応えられるよう、再検討する余地があった。そこで、子どものための書道教室を2019年4月から開講。アフタースクール事業で子どもたちを支援する活動に従事してきた寺西さんは、書道教室の中に子どもが楽しめるワークショップなども取り入れることで、すぐに子どもたちの心をつかんでいった。

さらにチケット制を定期的に教室に通うための月謝制にすることで、既存顧客が定着し安定した売上の確保につな

がった。

チラシやホームページの見せ方について指導を受けることで、教室の内容がすぐに伝わり、興味が湧くようなものになるように刷新を図った。

「アドバイスを受けたことで、今まで

見づらかったチラシが一新されました。表紙には教室のイメージがわくような写真と『神楽坂書道教室』の案内を、裏表紙には自己紹介などを載せました。また、中面には筆で5つの丸を描き、そこにコース名と内容と月謝などを手書きで掲載しました。筆文字のチラシはインパクトがあり、すぐに書道教室だとわかるものに仕上がりました。そしてすぐにポステイングを実施。またビルの1階にチラシが自由に取れるボックスを置かせてもらいました。」



書道教室を超えて 事業を多角的に展開

チラシやホームページページを大きく変えたことで次第に生徒が増えていき、それに伴い教室の稼働日を増やすことも検討。可能な限り空き時間を無くして多くの生徒が学べる体制を整えた。その結果、10名に満たなかつた生徒数がその後約1年で60名近くまで増え結果を出しができた。生徒がたくさん集まる日

は、教室が満席状態になるという。

またアトリエカッコでは書道教室だけに留まらず、アートと書道の実力を活かして商品や店舗のロゴマークや御朱印の提案、看板の文字制作など多角的に展開。受注は企業のプランディングやノベルティグッズ、店舗の壁紙やタペストリーなどに広がっていった。

また、今までプレゼンテーションや見積提案などの営業ノウハウを学ぶ機会がなかった寺西さんは、専門家のアドバイスを受けながら一つ一つ学んでいった。

「教室を軌道にのせることができたのは、振興公社の専門家によるアドバイスがあつたからだと思います。そのおかげでピンチを乗り越え、これから教室経営に希望を持つことができました。」と寺西さんは話す。

今後は書道教室に力をいれながらも書家としての活動の範囲を広げ、更なる集客と売上アップを目指していく。



Information

店名／アトリエカッコ
業種／書道教室・筆文字デザイン
所在地／新宿区白銀町1-15 SEKビル5F
営業／定期コース大人クラス
10:00~12:00 14:00~16:00 18:00~21:00
定期コース小中学生クラス
16:00~17:00 17:15~18:15
電話／070-3246-2018
HP／<http://atelierkakko.jp>
【活用プログラム】商店街起業促進サポート事業
商店主スキルアップ事業 商店街パワーアップ作戦

